

第49回日本神経学会総会 イブニングセミナーES-9

開催日:2008年5月15日(木)~17日(土)

脳機能画像の 最前線

2008/ **5/16** **金**

17:30 ▶ 19:00

パシフィコ横浜 第10会場 小ホール

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい一丁目1番1号 TEL.045-221-2155

座長

福山 秀直 先生

京都大学大学院医学研究科
高次脳機能総合研究センター 教授

講演
1

認知症の早期診断における
脳血流SPECTの有用性
—J-COSMICを中心に

鷺見 幸彦 先生

国立長寿医療センター 外来診療部 部長

講演
2

認知症の早期診断におけるPETの有用性
—SEAD-J、J-ADNIを中心に

伊藤 健吾 先生

国立長寿医療センター 長寿脳科学研究部 部長

「脳機能画像の最前線」

Theme

「脳機能画像の最前線」

核医学は脳血流や代謝などの生理・生化学的な情報が得られることが特徴であり、認知症の領域でもアルツハイマー病をはじめとする種々の認知症の診断に用いられている。とくに最近の治療薬開発の進展に伴ってアルツハイマー病の早期診断の重要性が高まっている。また、画像解析技術の進歩と普及は目覚しく、統計画像解析が日常診療のレベルで広く行われるようになってきている。このセミナーでは、PET、SPECTによるアルツハイマー病の早期診断法の確立を目的とする臨床試験について、これまでの解析結果を示しながら解説する。

日本脳神経核医学研究会
運営委員長

桑原 康雄

About JCNN

日本脳神経核医学研究会について

日本脳神経核医学研究会は、脳核医学に関する基礎および臨床研究の推進とその普及をはかり、それを通じて我が国の学術文化の発展に寄与し、国民の保健と福祉の向上に資すると共に、国際協力につとめることを目的としています。

脳核医学の発展には、放射線科や核医学科において検査を実施する医師や技師に加えて、脳神経外科、神経内科、精神科などで実際の診療に携わる臨床医、装置や医薬品の開発を行う物理工学、薬学、化学などの基礎研究者の協力が不可欠です。本研究会は、これらの学際的な領域の医療関係者や研究者を対象に、セミナーや講演会などを開催して、脳核医学の幅広い普及をめざします。また、脳核医学に関する多くの課題について議論する場を設定して、検査法の確立、臨床使用のためのガイドラインの作成、国際的な枠組みの中で情報交換などを行っていきます。

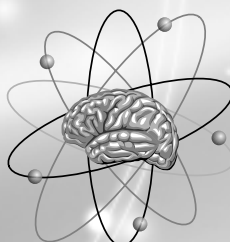
研究会の会員相互の情報交換には、インターネットを活用して幅広く情報を提供していきたいと考えています。本研究会が主催、共催する行事や関連研究会の案内もホームページでご覧いただけます。会員が情報を共有するとともに、外部に向けて発信できる新しいタイプの研究会を指向して活動を行っていききたいと考えています。この趣旨にご賛同いただき、脳核医学の発展のために、是非本研究会にご参加下さい。

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www2.convention.co.jp/jcnn/>

日本脳神経核医学研究会事務局

〒100-0013 千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞ヶ関ビル18F
日本コンベンションサービス株式会社内
E-mail: infojcnn@convention.co.jp
Tel: 03-3508-1214 Fax: 03-3508-1302



JCNN